

■著者紹介

福島 都茂子（ふくしま ともこ）

京都市生まれ。山口市育ち。

2008年、京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（法学）（京都大学）。京都大学大学院法学研究科助教を経て、現在、関西大学、近畿大学、龍谷大学などで非常勤講師。

論 文

「ヴィシー政府の人口政策とその効果—フランスにおける1942年の出生率上昇の理由の分析—（一）（二）（三・完）」『法学論叢』第161巻5号、第163巻1号、2号（2007-2008年）。

「フランスの家族政策におけるヴィシー時代と戦後の連続性—政策と思想の連続性—（一）（二・完）」『法学論叢』第165巻3号、5号（2009年）。

「1902年設立の「人口減少院外委員会」の成立過程と活動—フランスにおける家族政策の始まり—」『日仏政治研究』第5号（2010年）。